

2026 年 1 月 27 日

各 位

(経過開示) Web3 学習基盤「GYAN BLUE ラーニングコミュニティ」における
「Learn to Earn」機能の実装および β 版検証開始のお知らせ
～ ガスレス技術による「負担ゼロ」の学習体験と、DAO 型教育モデルの実証 ～

当社は、2025 年 10 月 3 日付「「AI Nyan 株式会社」の設立完了および「GYAN BLUE ラーニングコミュニティ」に関する進捗状況のお知らせ」で公表した構想に基づき、同コミュニティにおける「Learn to Earn（学んで稼ぐ）」機能の実装を完了し、β 版による機能検証を開始いたしましたのでお知らせいたします。

1. 進捗の背景と目的

当社グループは、AI やブロックチェーンといった最先端技術の社会実装を推進するため、高度 IT 人材の育成を急務と捉えております。

従来、Web3 サービスの利用には「ウォレット作成」や「ガス代（通信手数料）の支払い」といった高い参入障壁が存在しましたが、当社は最新のブロックチェーン技術（Account Abstraction 等）を活用した「GYAN BLUE ラーニングコミュニティ（DAO 型自律分散組織）」を構築することで、この課題解決を図ります。

本コミュニティでは、学習者が AI・暗号資産等のカリキュラムを修了するごとに、その成果（Achievement）に応じてインセンティブ（トークン等）が付与される「Learn to Earn」モデルを採用しました。これにより、学習者のモチベーションを飛躍的に向上させ、能動的なスキル習得を促進する新しいエコシステムの実証を行います。

2. 「GYAN BLUE ラーニングコミュニティ」の技術的特徴

本サービスは、ユーザー体験（UX）を最優先に設計された DApps（分散型アプリケーション）であり、以下の技術的優位性を有しています。

① Learn to Earn（学習報酬モデル）

学習者は、コミュニティが提供するクエスト（AI 研修や Web3 基礎講座など）をクリアすることで、学習証明書（NFT）とともに報酬を獲得できます。

※この報酬設計は、知識習得に対する正当な対価として DAO プロトコルにより自動執行され、学習意欲の維持・向上を目的としています。

② Invisible Web3（ガスレス体験の実装）

初心者や法人利用における最大の障壁である「暗号資産によるガス代支払い」を撤廃しました。

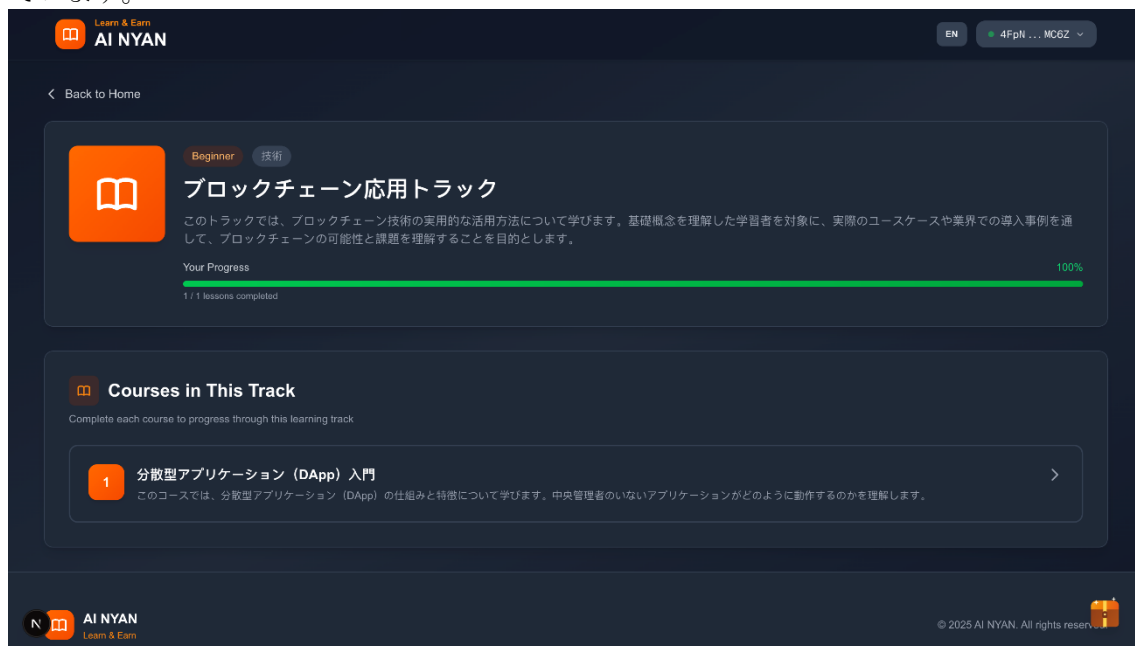
プラットフォーム側がガス代を負担する「メタトランザクション技術」の実装により、ユーザーは暗号資産を保有せずとも、学習の進捗記録や NFT の受け取りが可能となります。これにより、企業研修導入時の経理処理や、一般層のオンボーディングコストをゼロにすることに成功しました。

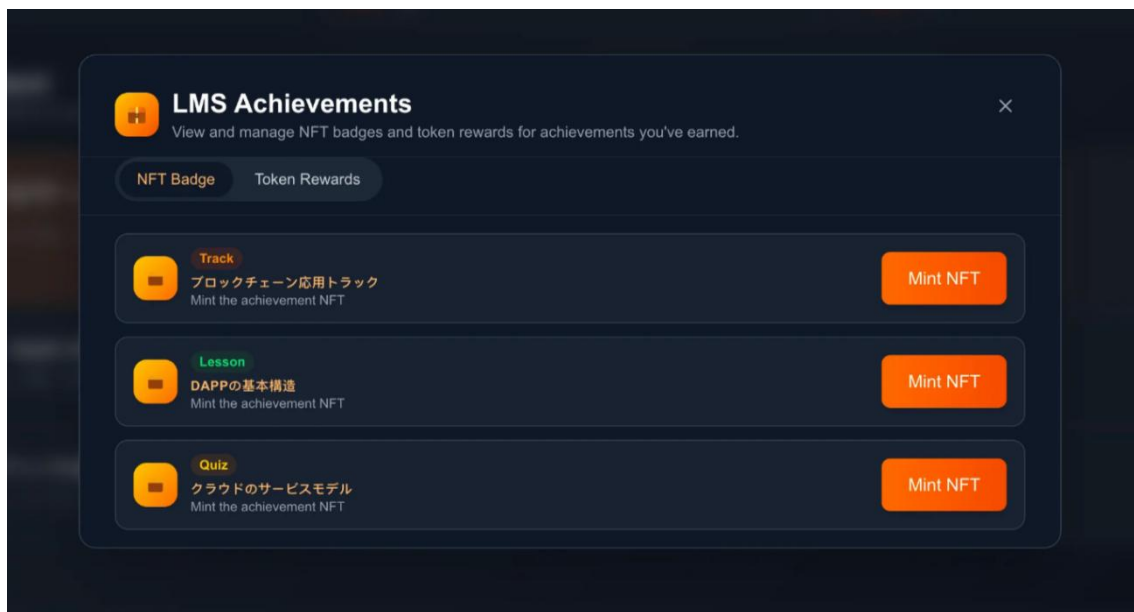
③ NFT Utility（保有資産の活用）

発行される NFT は単なる記念品に留まりません。特定の NFT 保有者に対して「初級コースの免除（スキップ権）」を付与するなど、ブロックチェーン上の資産が実世界の学習効率向上に直結するユーティリティを実装しています。

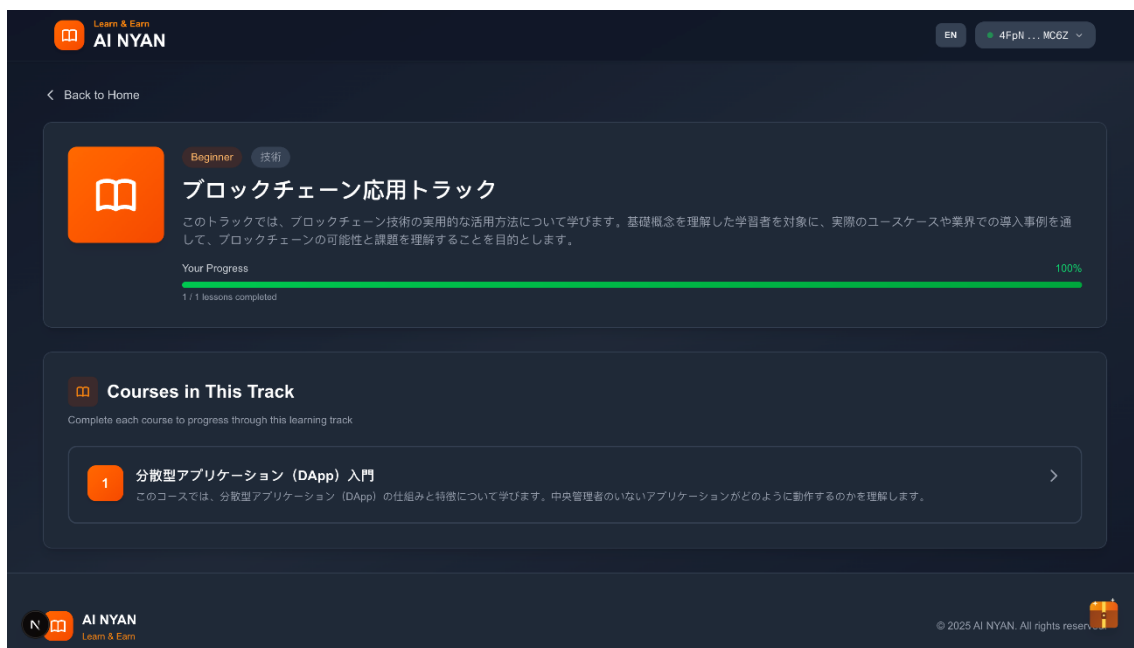
3. システム概要（β 版）

本サービスは、直感的な UI と堅牢なセキュリティを両立したシステム基盤上で稼働しています。





▲直感的な UI で学習進捗と報酬を確認できるダッシュボード



▲DAO 運営による分散型コース管理とオンチェーン設定画面
(報酬条件をスマートコントラクトに直接書き込み可能)

- 基盤チェーン: Solana (Devnet にて検証中)
- 管理体制: オンチェーン (ブロックチェーン) とオフチェーン (データベース) のリアルタイム同期によるハイブリッド管理を採用し、透明性と処理速度を両立しています。

4. 今後の展開

現在は β 版として、限定的なコミュニティメンバー（テストユーザー）を対象に検証を行っております。

今後は、検証結果をもとに UI/UX の改善を行い、法人企業や教育機関とも連携しながら、リスキリング需要に応える「次世代の教育インフラ」として社会実装を進めてまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前とは違いとところで決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は見捨てられて、今ではお米で、現代は「お金」で、価値を考えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
見捨てしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこがらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上